ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

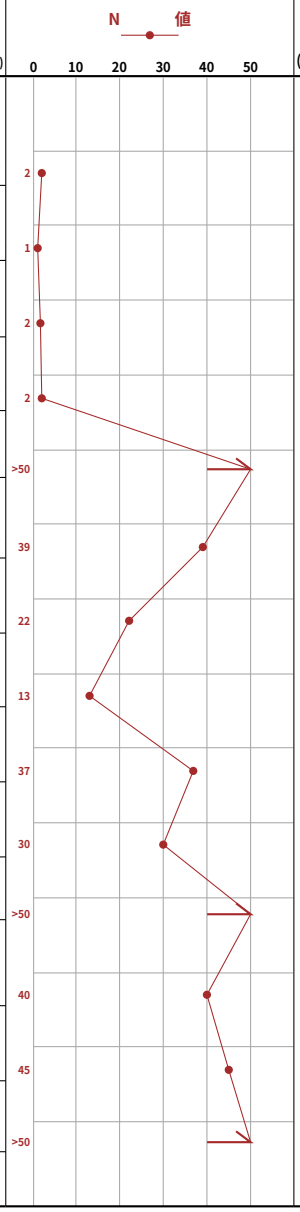
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.4	調査位置				北　緯	36 ° 34 ’ 55.4000 ”
発 注 機 関	栃木県真岡土木事務所			調査期間	2009-02-23 ～ 2009-02-24	東　経	140 ° 00 ’ 27.3000 ”
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	121.85 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	14.38 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	121.15	0.70	0.70		盛土 (BS)	灰～暗褐		非常に軟らかい	0.20mまで砕石，～0.50mまで礫混じり粘性土，黒ボク・ロームの混合土		
1	120.65	0.50	1.20		黒ボク (Kb)	黒褐			粘性中位,含水中位 所々暗赤褐色の軽石混入		
	120.30	0.35	1.55		今市軽石 (Pm)	暗赤褐		非常に軟らかい	含水上位，全体的に風化著しく細粒化 下部粘土質		
2					ローム (Lm)	灰茶褐			含水中位，2.0m付近まで暗赤褐色の軽石混入また，炭化物混入 2.0～3.0m付近黄褐色の軽石混入，3.0m付近から砂・軽石多く混入		
3	118.55	1.75	3.30								02/23 3.35
					鹿沼軽石 (Pm)	黄褐		非常に軟らかい	含水上位，粒径φ2～3mmを主体 4.0m以深は，風化著しくシルト状		
4	117.65	0.90	4.20		凝灰質粘土 (CH)	暗灰～暗褐		非常に軟らかい	含水中位，全体的に腐植物混入，粘性やや有り 下部φ2～5mmの小礫混入		
5	116.75	0.90	5.10		粘土混り砂礫 (GS-C)	灰褐～暗灰茶	密な	非常に軟らかい	礫径φ10～30mmの亜円・亜角礫を主体 マトリックスは，多量の粘土と粒径不均一な凝灰質砂からなる [7.00]6.0m付近より風化礫多く混入，6.6m付近φ120mmの玉石混入 [8.00]8.0m付近粘土質の砂分が多く礫の含有率が少ない [9.00]9.0m付近φ60mm程度の礫が多く混入 [11.00]11.0m以深は，コア長90mm前後の玉石多く混入玉石全体的に風化礫多く，コアは粘土～細砂状で土砂化している		
6								非常に軟らかい			
7								非常に軟らかい			
8								非常に軟らかい			
9								非常に軟らかい			
10								軟らかい			
11											
12											
13											
14	107.47	9.28	14.38								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／20	1／12		2／32	2
1.47					
2.15	1／31			1／31	1
2.46					
3.15	1／15	1／19		2／34	2
3.49					
4.15	1／20	1／12		2／32	2
4.47					
5.15	19	26	5／3	50／23	>50
5.38					
6.15	10	12	17	39／30	39
6.45					
7.15	6	7	9	22／30	22
7.45					
8.15	4	5	4	13／30	13
8.45					
9.15	10	14	13	37／30	37
9.45					
10.15	10	9	11	30／30	30
10.45					
11.15	34	16／5		50／15	>50
11.30					
12.15	8	18	14	40／30	40
12.45					
13.15	10	13	22	45／30	45
13.45					
14.15	19	25	6／5	50／25	>50
14.40					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		1.60	4-1		物理力学	
		2.38				
						02/23
						02/24